

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 3月 31日

事業所名: アバンツアーレスポーツなご

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	1		運動・スポーツを通じた療育がメインなので運動施設、公園をうまく活用している。施設予約ができないとき、雨天の時間が課題。	社内に研究所を組織作り、活動プログラムの開発、改善を推し進めている。メインのサッカー支援プログラム外のプログラムの構造化を
	2	職員の配置数は適切であるか	1	1	2		職員の募集・採用を強化している。複数の事業所での協力体制を構築する
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1		3		予算も考慮しながら、可能な部分から取り組んでいく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	2			今期、プロジェクトチームを立ち上げ、業務改善に取り組んだ。引き続き改善を推し進めていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	1	1		来季、保護者との連携を強化し、保護者の意向を吸い上げる取り組みを実行する。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1			事業所の会報誌、SNSで活動内容を公開しているので、引き続き活用していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	1		外部顧問の監修を受けている。引き続き強化していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	2			事業所としての研修体系が構築された。職員の意向を踏まえながら更に充実したものにしている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	2	2			今期、大きなアセスメントシートの改善を行った。来期、その改善の浸透と、活用方法をブラッシュアップしていく。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1			外部顧問の監修を受けた当事業の運動発達、社会性発達の指標がある。引き続き活用し、利用者に戻元している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	2		週間会議、ケース会議等を事業所内で行い、情報共有、活動内容の立案を行っている。	現在行っている施策に加え、会議体系、プログラムの改善を更に推し進めていく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2	2			メインのサッカー支援プログラム外のプログラムの構造化に取り組んでいる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	2	2			マニュアル化を推し進めている。更に細やかな課題に対応できるものを構築している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		特に集団活動が苦手な利用者に対して、個別支援を強化している。	集団活動に対しての支援がメインだが、適宜、個別支援も計画的に実行している。引き続き、改善していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	1		ミーティングだけでなく、普段の会話の中でも情報共有、役割分担をチェックしている。	現在実施している事前打ち合わせをより良く改善していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	3		営業時間の都合上、支援終了後に時間が取れないこともあるが、情報共有の方法を工夫している。	振り返りの方法を模索する。マニュアルに落とし込み、属人的にならず、漏れがない
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	2	2		日々の支援を記録を情報共有ツールを使い、周知に努めている。	記録をチェックする仕組みを改善していく。現在、ITシステムを活用している。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			相談支援事業所、学校、保護者と連携し、モニタリングを実行している。	継続して実行し、漏れのない仕組みを構築する。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	2	2			支援プログラムの構造化に取り組んでいる。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	1			適任者をサービス担当者会議に参画できるよう配慮している。引き続き協力体制を構築する。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	2	2		送迎時等、努めて子どもの情報を共有している。	情報共有は適宜行っている。引き続き連絡体制を強化する。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	2			医療的ケアが必要な利用者がいれば速やかに対応策をとる。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3		1		今後事業所としての方策を構築したい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	3			今後事業所としての方策を構築したい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	2	1		今後事業所としての方策を構築したい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	2		来期、地域交流の場を設けることを強化したい。地元のスポーツクラブとの連携を図る。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	3			積極的に情報をとり、職員の参加を推し進める。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4				引き続ききめの細かい情報共有に努める。情報共有のツールの改善も図る。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	1	2	一部の利用者に対して、外部講師を招き、保護者に対して支援講習を行い、各方面の支援者との情報共有を行った	来期、保護者への講習や支援方法の共有の場を企画したい。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3	1			契約時、丁寧な説明に努めている。引き続き取り組んでいく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	1			特にモニタリング会議、面談等で相談を受ける。今後も適宜対応していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1		3		保護者の都合にも配慮し、場を設けることから企画、工夫したい。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1			従業員の尽力により、苦情に対して迅速に対応している。事業所としては、属人的にならず、安定して対応できる仕組みを構築したい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1		会報誌、予定表を定期的に発行している。	現在、SNSも活用している。来期もより良いもの、わかりやすい情報共有体制を構築する。
	35	個人情報に十分注意しているか	4			個人情報同意書を取り、細やかに配慮している。	引き続き個人情報保護のノウハウを構築していく。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4				配慮に努めているが、仕組化に取り組んでいきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	2		来期、地域交流の場を設ける企画を実行したい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	1	3			各マニュアルの整備に取り組んでいる。そのマニュアルの浸透と改善を推し進める。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1	3			避難訓練は実施している。その内容の充実と広く周知することに取り組む。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			外部講師を招き、虐待防止研修を行っている。	引き続き、虐待防止研修を実行していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	2			今後、身体拘束のケースについてのマニュアル化、構造化に取り組む。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1			漏れのない情報共有体制を構築する。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	2			共有体制を強化する。